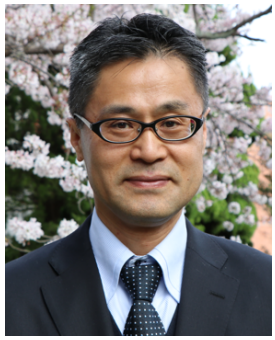
公立大学法人 山口県立大学 大学院
健康福祉学研究科健康福祉学専攻
博士前期課程／博士後期課程
Graduate School of Health and Welfare
Master's Course of Health Science and Welfare
Doctoral Course of Health Science and Welfare

曽根　文夫　　SONE　Fumio



研究分野：運動生理学、環境生理学

キーワード：冷え症、運動処方、温熱性快適感

研究トピックス：

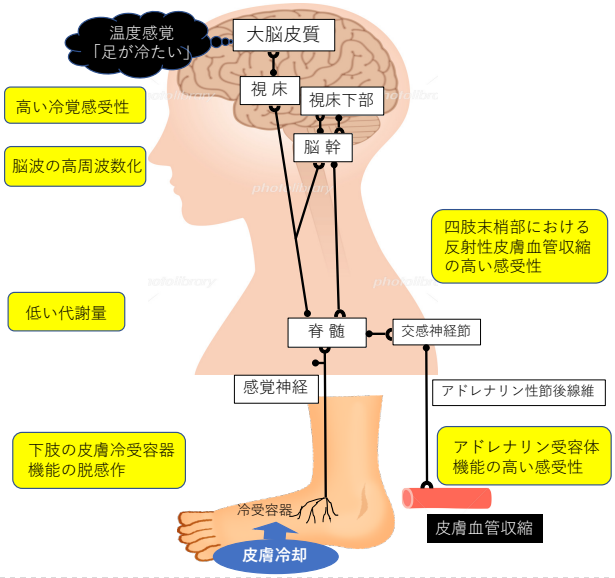
冷え症の生理学的機序の解明と緩和策の検討

研究の要旨：

多くの人が温熱的に苦痛を感じない室温条件下でも身体の末梢部に強い冷感を自覚する症状は冷え症と呼ばれ、男性よりも女性に多くみられます。冷え症は、四肢末梢部の強い冷感から生じる苦痛だけでなく、不眠、肩こり、便秘などを伴います。さらに、冷え症の若年女性は月経異常の傾向が高いことや、冷え症の妊婦では微弱陣痛、遷延分娩などの異常分娩を生じやすく、この症状は生命と生活の質を低下させるものであるといえます。

図には、私たちがこれまでに明らかにした冷え症の生理学的特徴を皮膚冷却刺激の情報伝達経路とともに示しています。

現在、私たちは冷え症を緩和する方法として身体運動に注目し、その効果と作用機序について研究を進めています。



主な関連業績：

山崎文夫たち（2019）冷え症女性における局所性および全身性皮膚冷却時の脳波の特徴. *日本生気象学会雑誌*, 56: 25-33.
山崎文夫たち（2018）局所皮膚冷却時の温度感覚と脳波の変化-男女差および冷え症の影響-. *日本生気象学会雑誌*, 55: 9-18.（第３回日本生気象学会論文賞受賞）
Yamazaki F. et al. (2017) Desensitization of menthol-activated cold receptors in lower extremities during local cooling in young women with a cold constitution. *J. Physiol. Sci.*, 67: 331-337.
Yamazaki F. (2015) The cutaneous vasoconstrictor response in lower extremities during whole-body and local skin cooling in young women with a cold constitution. *J. Physiol. Sci.*, 65: 397-405.

教員紹介へのリンク
教員データベースへのリンク